

■ 荏原環境プラントが、ごみ焼却施設における監視制御システムの開発で Microsoft .NET ベースの SL-GMS を採用

制御システム(DCS/SCADA)専門のダイナミック GUI/HMI ツールによって、開発・保守工程における生産性を加速し、高性能な操作卓の TCO を削減

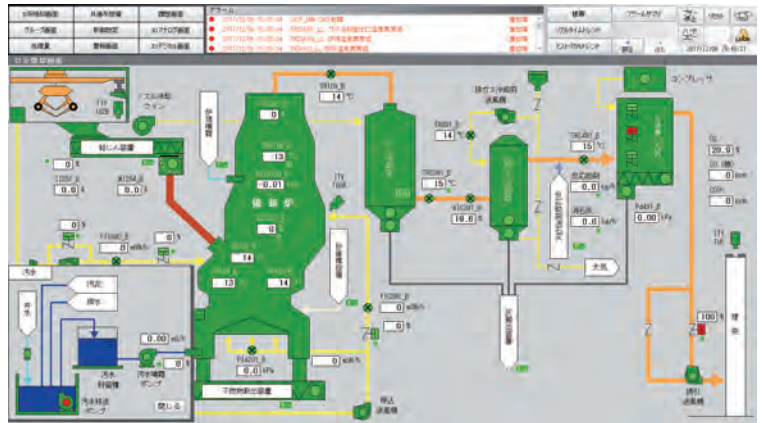
2018年5月22日 ニュースリリースより

リアルタイムデータのグラフィックな可視化と監視で業界をリードする SL ジャパンは、固形廃棄物処理に関する卓越した技術とサービスを提供し、持続可能な社会の構築に貢献している荏原環境プラント株式会社が、ごみ焼却施設における監視制御システムの開発で、SL-GMS Developer for .NET を使用していることを発表しました。

効率的なごみ処理施設の運転管理では、主軸となる中央制御室の監視制御システムによって焼却炉全体を安全に連続安定運転し、排熱エネルギーの利用や公害の抑制を行います。そして、監視制御システムの操作画面の開発では SL-GMS が使用されており、ごみの焼却量、焼却炉の温度、排ガス規制値などをグラフィックな系統図や計器画面で監視し、安全・安定に操炉できるよう、デバイスアラームなどの警報を表示します。

ごみ焼却炉においては、燃焼の安定性、省エネ、操炉コスト、排ガスの排出基準が厳しい中、計装・制御への要求もますます高まっており、中枢となる監視制御システムの開発を SL-GMS が強力にサポートします。

☆ ニュースリリース全文はこちら: http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2018/slj_press_180522.shtml



(事例より) 焼却炉系統図のメイン画面上で詳細の子画面を繋がついているようにポップアップ表示できる一例

月刊「計装」7月号 2018 で SL-GMS の記事掲載

工業技術社出版の月刊「計装」7月号 2018 p.63-65 に、SL ジャパンが執筆した SL-GMS 関連記事が掲載されました:
「64bit 対応制御システムの開発を支援する HMI ツールの新展開」
<http://www.sl-j.co.jp/products/resources/keiso1807sl-j.pdf>



1. はじめに 1980年代以降、グラフィックな操作卓を持ち合わせた制御システム(DCS/SCADA)は、…そして今、Windows 10や Red Hat Enterprise Linux 7を搭載した産業用パソコンが導入されていく中で、制御システムの64bit化が進んでいる。…
2. 「モノの監視“Monitoring of Things”」を専門としてきたSLの可視化技術
3. SL-GMSによる開発・保守と制御システム固有のカスタムエディタ構築によるTCO削減
4. ユーザとともに進化してきたSL-GMS
5. 国内におけるSL-GMSユーザの開発動向
6. おわりに … SL-GMSは、この何十年を経ても変わることのない制御システムにおける課題への解決を長期に渡って提供し、今64bit化が進む制御システムの開発を強力に支援している。

米SL社、IoT向けRTView CloudをInternet of Things Worldにて発表

Samsung社のIoTプラットフォームと連携デモ

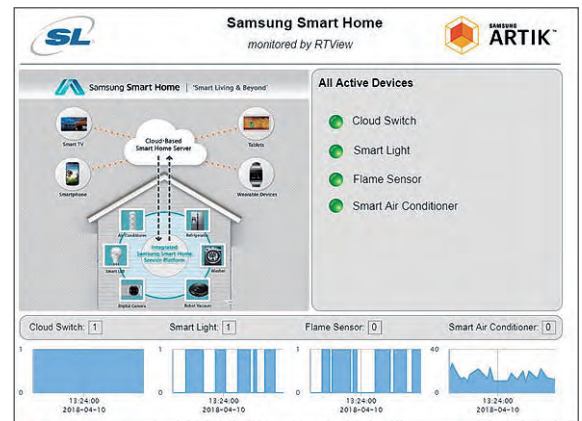
2018年5月15日 米現地時間 米SL社ニュースリリースより:

高度なリアルタイムデータの可視化と監視でリードする米国SL Corporation (SL社)は、去る2018年5月14日～17日にサンタクララ市で開催されたInternet of Things Worldにて、IoT(モノのインターネット)ユーザ向けRTView Cloudの一般リリースを発表しました。

Internet of Things Worldでは、インダストリアルIoT(IIoT)ならびにビルオートメーションプロジェクト向けのSamsung ARTIK (Samsung社のIoTプラットフォーム)と連携した製品デモを出展しました。

☆詳細は、ニュースリリース全文(日本語抄訳)で:

http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2018/sl_j_press_180515.shtml



IoT World Conference 東京 2018にて講演レポート

「IoTデータのリアルタイムな可視化と監視におけるカスタム構築～中央制御室から、モバイルで一元監視するダッシュボードまでの事例とデモ～」



去る9月14日にJPタワーホール&カンファレンス(東京・丸の内)で開催されたIoT World Conference 東京2018にて、SLジャパンの代表取締役社長である羽島良重が講演しました。

講演では、膨大な数のデバイスやセンサーを広域ネットワークで結び、中央制御室における24時間ノンストップの監視でIoTを先駆けてきたSL-GMSユーザ様の国内事例を、実際の画面とともにご紹介しました。

また、工場やデータセンターなど複数現場からの異種IoTデータを集約し、スマートフォンやタブレットからアクセスするクラウド運用の一元監視ダッシュボードの「カスタム構築」を、実際のRTViewデモでご覧いただきました。

米SLは、30年以上に渡ってセンサーや計測器、ソフトウェアなどによって収集されるリアルタイムデータのグラフィックな可視化ツールに全力を注いできた専門メーカーで、日本国内においても「モノの監視 Monitoring of Things」に集約されるさまざまな設備監視で長年の実績を誇っています。

※ IoT World Conference 東京 2018 は、(株)ナノオプト・メディアが主催した1DAYセミナー(無料・事前登録制)です。

☆イベントサイト: http://www.sl-j.co.jp/newsevents/iot-world2018_session.shtml



講演では、リモートデスクトップで運用されているSL-GMSによる設備監視デモと、クラウドで運用されているRTViewによるIoTデータの監視デモを、実際にノートPCならびにiPadでアクセスしてご覧いただきました。

SLジャパングッズギャラリー

セミナーやイベントで、ご来社時またはご訪問時、SLユーザ様への定期便に同梱などで、進呈しています。



トートバッグ(B4サイズ)



ペン立て缶



タオルハンカチ



マーカー



設立20周年記念
トートバッグ(A4サイズ)とポーチ



チロルチョコ



2019年卓上カレンダー



株式会社SLジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

Real-Time Visibility

年3回発行 2018年9月21日発行 通巻61号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。